



# CSR

## 報告書

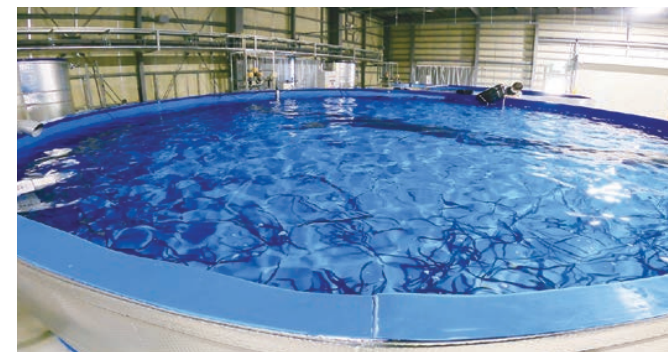
### — contents —

- 安心・安全への取り組み
- カーボンニュートラルの実現
- 地域への貢献
- 環境への貢献
- 新しい分野での貢献を目指して



武州ガスHP

2025.01







## 経営理念

新たな時代におけるお客さまからの期待に応えるため、常にお客さま志向に徹し、社業の発展に努めるとともに、ガス事業を核として豊かなうるおいのある都市生活づくりを提案し、地域社会の繁栄に貢献していく。



取締役社長  
**原 敏成**  
HARA TOSHINORI

## トップメッセージ

当社は経営理念に掲げている地域社会の繁栄に貢献することが社会的責任と捉え、社会要請への対応及び社会貢献に取り組んでいます。

社会要請への対応については、ガス事業を核として快適な住生活を提供するとともに、地域の経済、産業の発展に貢献することを使命とし、都市ガスの原料である天然ガスの更なる活用や再生可能エネルギーの利用による低炭素化・脱炭素化に向けた取り組みや環境保全に貢献することであると考えております。

社会貢献については、地域社会の活性化に向けて地域と連携し、地域と共に歩む良き企業市民としての役割を果たし、市民生活の質的向上に貢献していくことが必要であると考えております。

当社の創業の経緯やこれまでの社会要請への対応・社会貢献に対する考え方は SDGs の精神にも通じるものであり、今後も地域創生や地域活性化に資する活動に取り組んでいきます。



**武州ガス**は、埼玉県西部地域を中心に都市ガスや電気を供給している会社で、1926年（大正15年）に創業されました。

創業当時、入間川流域では薪や炭を燃料に使うため山林が伐採され、山の保水力が失われて川が氾濫し、農作物に甚大な被害をもたらしていました。そこで、山林を守り洪水を防ぎ、貧困をなくすため、新たな燃料としてガスを普及させようとしたのが武州ガスの始まりです。

武州ガスが守り続けている「地域社会への貢献」という創業の精神の原点はここにあり、当社の経営理念として今に受け継がれています。昨今、ESG や SDGs という言葉が注目を集めていますが、武州ガスにおいて地域社会へ貢献するのは前提であり、社員一人ひとりが無意識のうちに実践しています。

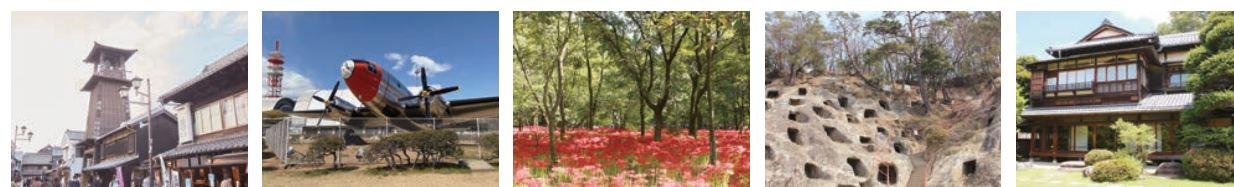
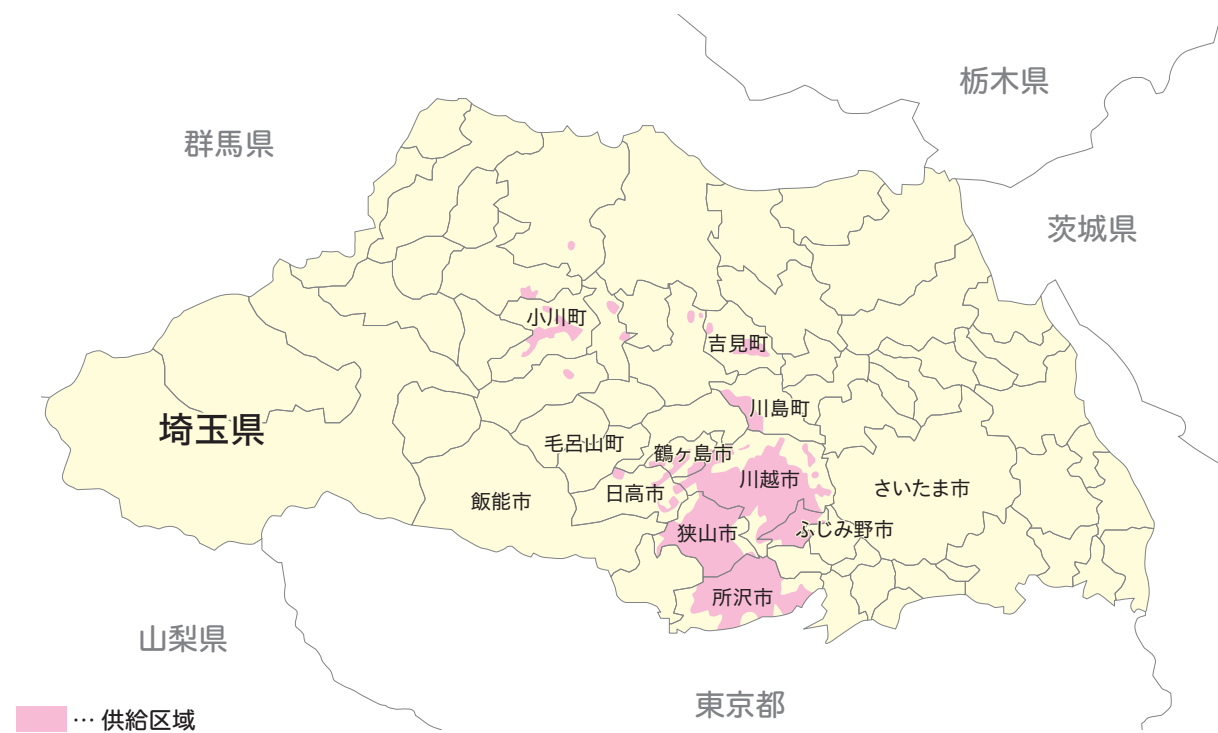
武州ガス公式キャラクター



## 会社概要

|       |                                                                   |                  |
|-------|-------------------------------------------------------------------|------------------|
| 本 社   | 川越市田町32-12                                                        | TEL 049-241-9000 |
| 設 立   | 1926年(大正15年)10月29日                                                |                  |
| 資 本 金 | 413百万円                                                            |                  |
| 事業内容  | 都市ガスの供給・販売、液化石油ガスの販売、管工事、ガス機器の販売・修理、電気機器の販売、小売電気の販売、通信サービスの販売、その他 |                  |

**供給区域**は、川越市、所沢市、狭山市、ふじみ野市、鶴ヶ島市、日高市、飯能市、東松山市、深谷市、熊谷市、川島町、吉見町、毛呂山町、小川町、ときがわ町、寄居町、嵐山町の10市7町です。※いずれも一部を除く





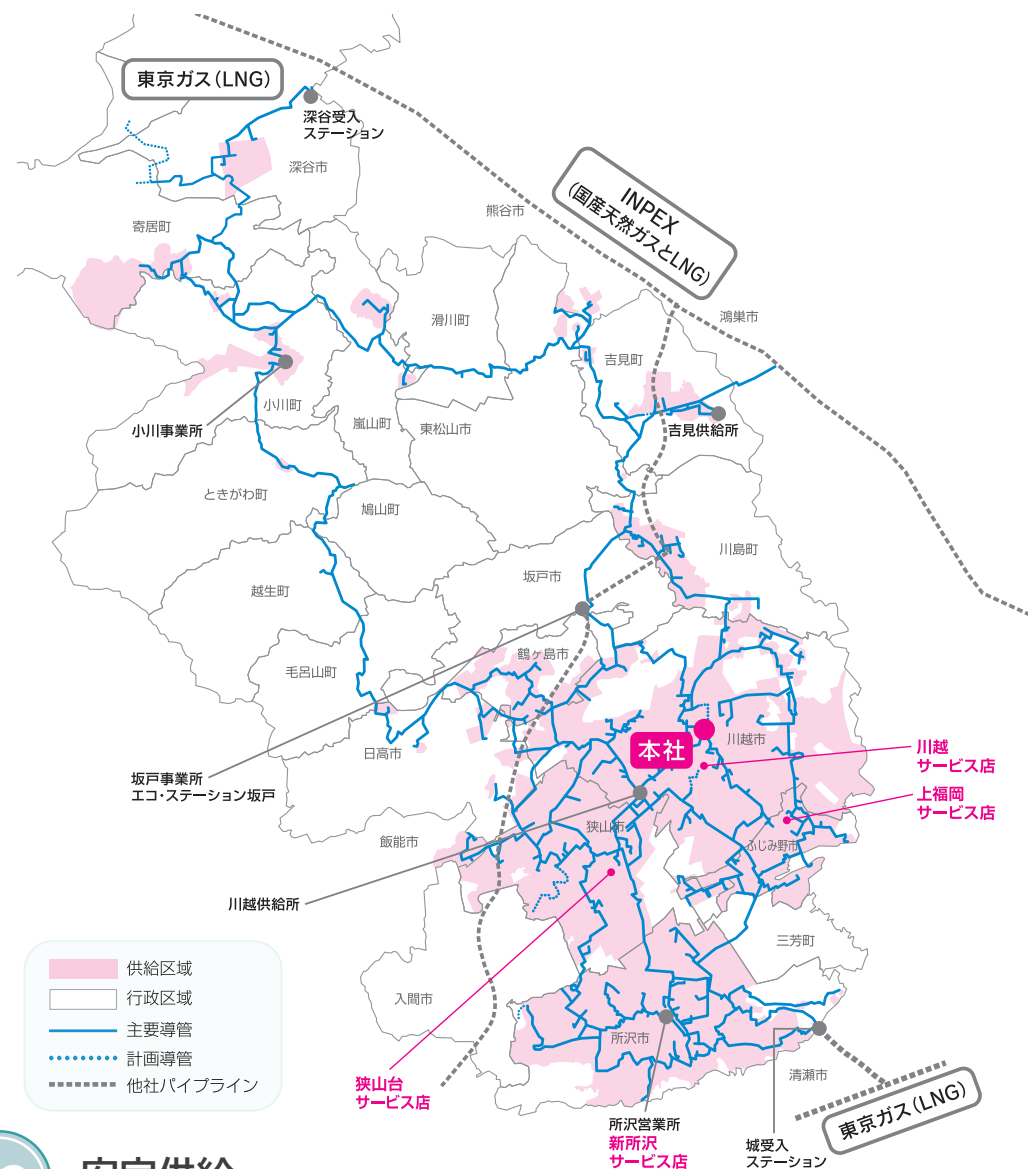
# 安心・安全への取り組み



武州ガスは、天然ガスを安定してお届けし、地域のみなさまが安心・安全にガスをお使いいただける環境を常に維持するため、様々な取り組みを行っています。

## 01 原料の調達

安定供給のため、都市ガスの原料となる天然ガスは、株式会社INPEX JAPAN、東京ガス株式会社の2系統から調達しています。



## 02 安定供給

坂戸事業所ではガス供給に支障が発生しないよう、24時間365日、導管ネットワークを監視しています。



## 03 ガス導管

ガス導管の約85%を占める低圧導管には、腐食に強いポリエチレン管を採用しています。

ポリエチレン管は柔軟性にも優れ、地震にも強い特徴があります。

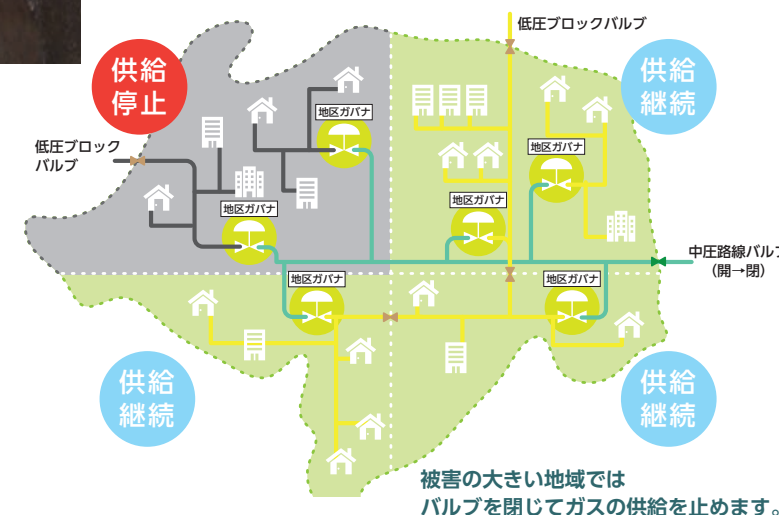


## 05 導管網のブロック化

地震発生後のガス漏洩による二次災害を防止するために、災害が大きい地域を速やかに供給停止します。供給エリアを細かく分割し、そのエリアごとの被害に応じて供給停止するかどうかを判断することで、供給停止範囲を最小化できるようにしています。

## 04 緊急保安体制

夜間・休日対応の宿直・日直体制により、ガス漏れや火災等の事態が発生した場合には24時間365日速やかに出動できる体制が整っています。



## 06 災害対策訓練

地震等の大規模災害によりガス施設に被害が発生した場合に備え、災害対応訓練を定期的に実施しています。

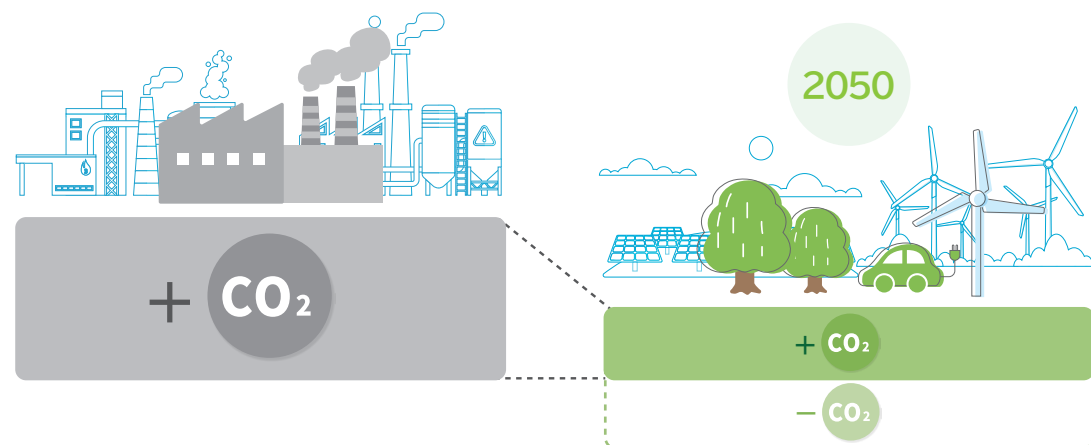
また甚大な被害をもたらした阪神淡路大震災や東日本大震災に際し、全国の都市ガス事業者の復旧応援隊が活動しました。当社も日本ガス協会からの要請を受け、復旧応援隊を現地に派遣いたしました。





カーボンニュートラルとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることです。「排出を全体としてゼロ」とは、温室効果ガスの「排出量」から、温室効果ガスの回収や利用などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロとすることです。

2050年のカーボンニュートラル社会に向け、都市ガス業界では様々な取り組みを行っています。



## 01 低炭素化

当社が都市ガスの主原料としている天然ガスは、化石燃料の中で温室効果ガスの排出量が最も少ないエネルギーです。これを踏まえ、2050年までのトランジション期（移行期）では、石油・石炭からの燃料転換、コージェネレーションや燃料電池などの分散型エネルギーの普及拡大や機器の効率化など、徹底した天然ガスシフト・天然ガスの高度利用を進め、確実なCO<sub>2</sub>の削減を進めていきます。

| 排出量の比較表 |      | CO <sub>2</sub><br>二酸化炭素 | NOx<br>窒素酸化物 | SOx<br>硫黄酸化物 |
|---------|------|--------------------------|--------------|--------------|
|         |      |                          |              |              |
|         | 天然ガス | 60                       | 40           | 0            |
|         | 石油   | 80                       | 70           | 70           |
|         | 石炭   | 100                      | 100          | 100          |

出所：IEA/Natural Gas Prospects to 2010(1986)

## 02 都市ガスのカーボンニュートラル化

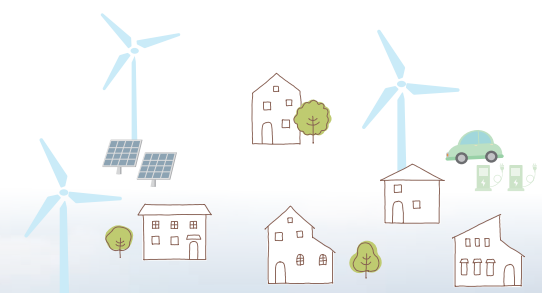
様々な事業で排出されたCO<sub>2</sub>と再生可能エネルギーから作られた水素を反応させて都市ガスの主成分である「メタン」をつくるメタネーションという技術で、「e-methane」(イーメタン)が作られます。CO<sub>2</sub>からつくられるため実質カーボンニュートラルが実現できる技術で、すでに実証が始まっています。ガス業界は将来的に都市ガスの大部分をe-methaneにすることを目指しています。



## 03 再生可能エネルギーの普及促進

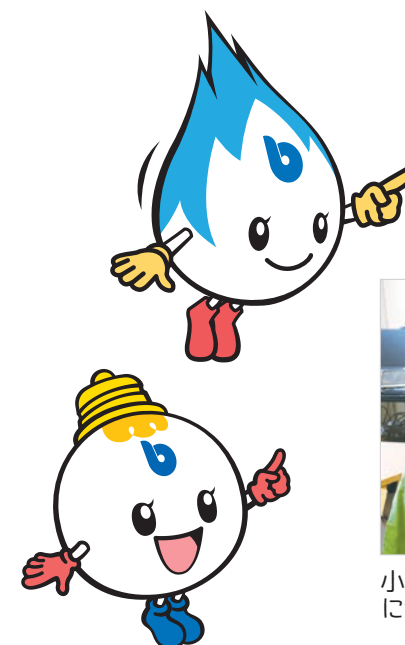
低炭素・脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギー由来の電力を普及させるべく国内で太陽光発電所の開発を進めています。

運用している太陽光発電設備は自社保有施設・遊休地をはじめ、千葉県内のメガソーラー発電所など首都圏全域で40カ所に上り、今後も各地で開発を進めていきます。またこれからは、再生可能エネルギーの特性や地域性を踏まえながら開発と調達を推進し、小水力発電やバイオマス発電も検討していく予定です。



## 04 地域包括連携協定

武州ガスは「脱炭素のまちづくりに向けた包括連携協定」を供給エリア内の行政と卸元の東京ガスと締結し、さまざまな取り組みを行っています。



小学生や未就学児に、環境について一緒に考える「環境教育」を行っています。



尚美学園大学 情報表現学科の学生と共同で映像教材を作成しました。



# 地域への貢献

次世代への支援として、将来を担う子どもたちに文化活動や環境学習などの教育を行っています。

## 01 子どもエコクラブ

環境保全の大切さを学んでもらうことで、自然と環境問題への取り組みを行えるようになってほしいとの思いから、小学校高学年を対象に、環境学習や環境に関する施設の見学などの活動をしています。



## 02 各種コンクール

小学生・中学生・高校生を対象に、書道のコンクール、環境イラストや学園祭ポスターのコンテストを開催しています。開催にあたっては教育委員会の後援をいただき、毎年多くの応募をいただいております。



## 03 スポーツ大会への支援

スポーツを通じた心身の育成や地域活性化に貢献できるように子どもたちの野球やサッカーの大会の支援を行っています。



## 04 社会体験

社会人とのふれあいを通して社会への興味・関心を高めることを目的に、中学校の社会体験チャレンジ事業に協力し、ガス工事現場の見学など業務体験の場を提供しています。



## 05 出張授業

環境やエネルギーに興味を持ってもらうことを目的に、小中学校を対象とした出張授業を行っています。内容は、液体窒素による実験をする「天然ガスと環境」や、環境に配慮した買い物・調理・片付けを学ぶ「エコ・クッキング」を用意しています。

※エコ・クッキングは東京ガス株式会社の登録商標です。



地域密着の企業として、地域社会とともに繁栄していくことを目指しています。

## 01 コンサートの開催

当社主催によるコンサートを開催しています。日頃の感謝の意を込めて、お客さまや地域の皆さまを抽選によりご招待しています。



## 02 地域活動の支援

所沢シティマラソン・小江戸川越ハーフマラソンへ協賛等を行っています。



## 03 社内ボランティア

事業所周辺において、ボランティア清掃や地域パトロールを行っています。地域パトロールでは埼玉県警察の方と一緒に巡回することもあります。また、2010年、社内ボランティアサークル「ハーモニー」を結成し、小江戸川越ハーフマラソンでの給水や地域の清掃活動に参加しています。





# 環境への貢献

環境保全活動にも力を入れています。



## 01 武州 飯能の森

森林の保全のため、埼玉県飯能市に山林（6,145 m）を保有しており、子どもエコクラブなど環境学習の場として活用しています。

## 02 武州・入間川プロジェクト

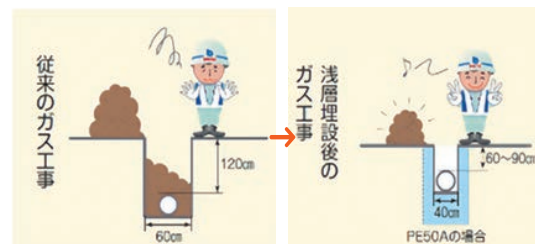
国土交通省荒川上流河川事務所（河川管理者）、埼玉県生態系保護協会（有識者）、武州ガス（出資者）が主体となり、入間川流域で自然環境保護活動に取り組むNPOや市民団体、学校等に活動資金を助成し支援する官民連携プロジェクトを2010年から続けています。



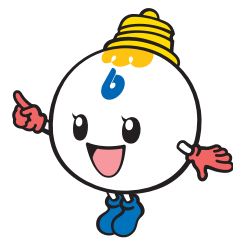
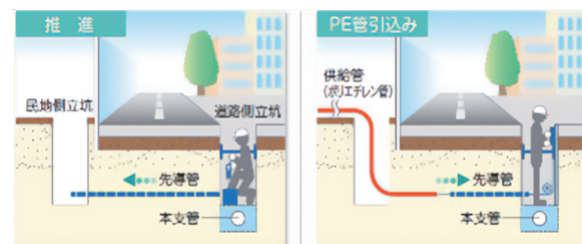
## 03 事業活動による廃棄物の抑制

ガス管の工事により発生する廃棄物の少量化を目指し、環境にやさしい工法（浅層埋設・小幅掘削、非開削工法）を採用したり、廃材などのリサイクルを行ったりしています。

【浅層埋設・小幅掘削】



【非開削工法】



# 新しい分野での貢献を目指して

地域活性化のために、未来につながる新しいチャレンジを始めました。



## 01 農業

農業の担い手不足や休耕地増加などは、各地域が抱える深刻な問題となっています。これらの解決に貢献したく、2020 年より農業事業（稲作）を開始しました。社員が自らの手で種から苗を育て、田植え、稲刈り、精米、販売まで行っています。

## 02 うなぎの陸上養殖事業

埼玉県に根付くうなぎ食文化を一層盛り上げるとともに、食の安心・安全などによる地域貢献を目指し、養殖施設「武州ガス水産研究所」を建設し、うなぎの陸上養殖事業を開始しました。また、水産研究所は独自のろ過システムにより地下水を循環利用することで排水量を最小限に抑えるとともに、再生可能エネルギー（太陽光発電）を活用する事で環境負荷が少ない養殖施設を実現しています。

## 03 コインランドリー

生活分野での貢献を目指して、当社直営のコインランドリーをオープンしました。布団が丸洗いできる大型洗濯乾燥機はもちろん、スニーカーや少量の洗濯にも対応が可能です。ガスならではのパワフル乾燥でスピーディーかつふわふわに仕上がります。

